

城西大学水田記念図書館主催講演会 「大手出版社の仕事」

日時:平成29年12月1日(金)13:30～15:00

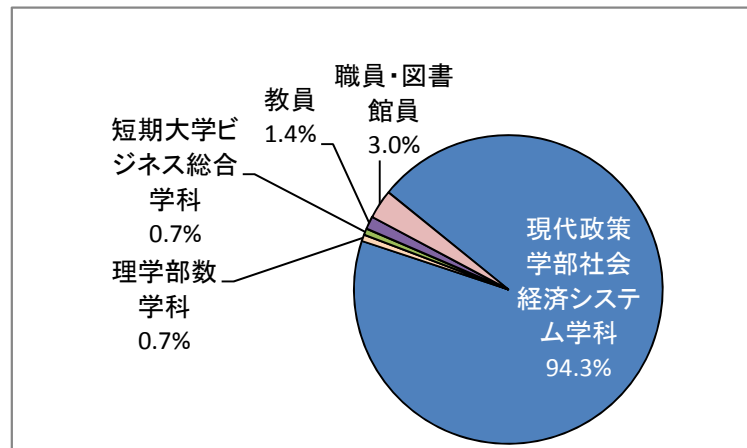
会場:3号館301教室 現代政策学部「キャリアデザイン基礎Ⅱ」と連携

講師:長久保 亮 氏(株式会社 文藝春秋) 聞き手:佐藤 健太 氏(フリー編集者)

参加者数:296名 アンケート回答者:245名(回収率=83%)

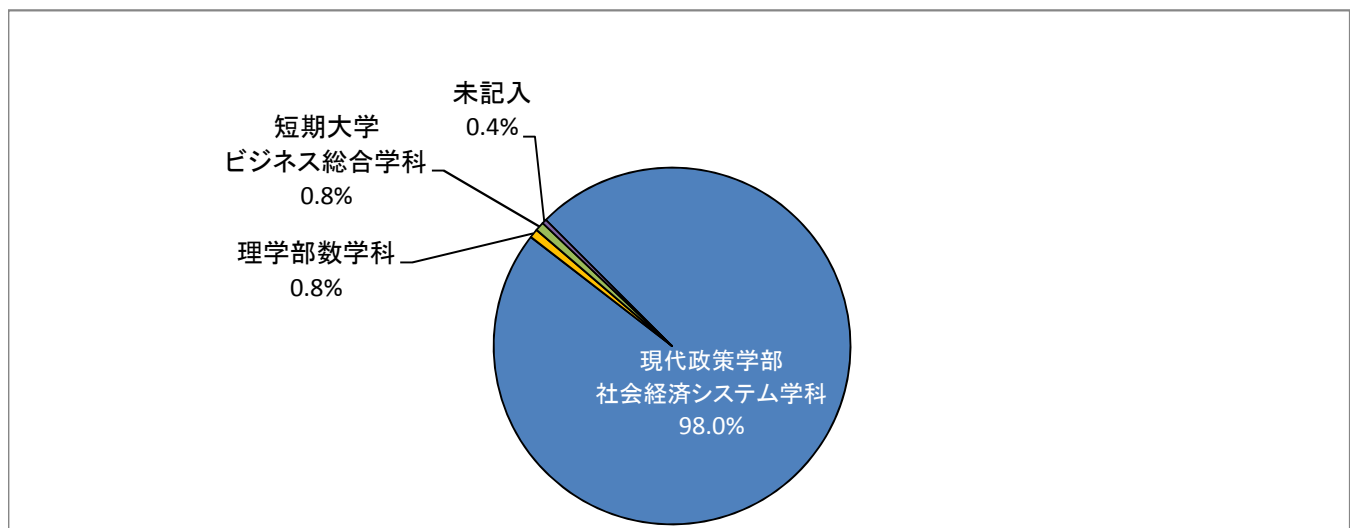
参加者数内訳

	単位(人)
現代政策学部社会経済システム学科	279
理学部数学科	2
短期大学ビジネス総合学科	2
教員	4
職員・図書館員	9
合計	296



回答者数内訳

	単位(人)				
	1年	2年	4年	未記入	合計
現代政策学部社会経済システム学科	231	9	0	0	240
理学部数学科	0	1	1	0	2
短期大学ビジネス総合学科	1	0	-	1	2
未記入	0	0	0	1	1
合計	232	10	1	2	245



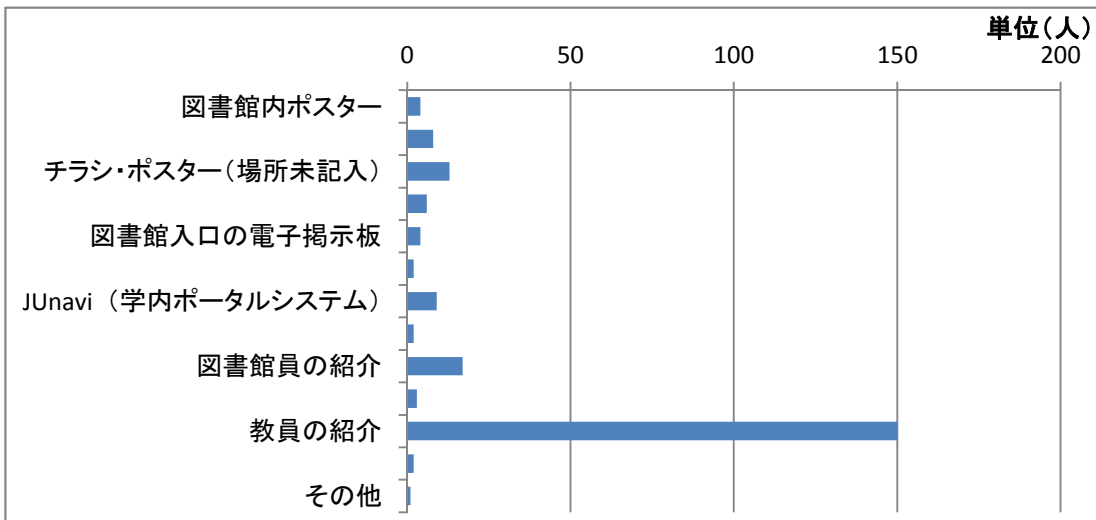
城西大学水田記念図書館主催講演会

1) 今回の講演会を何で知りましたか？(複数回答可)

単位(人)

図書館内ポスター	4
図書館以外のポスター	8
チラシ・ポスター(場所未記入)	13
図書館ホームページ	6
図書館入口の電子掲示板	4
図書館Twitter	2
JUnavi(学内ポータルシステム)	9
図書館報BookMark	2
図書館員の紹介	17
学生アドバイザーの紹介	3
教員の紹介	150
清光会館マルチビジョン	2
その他	1

その他内訳

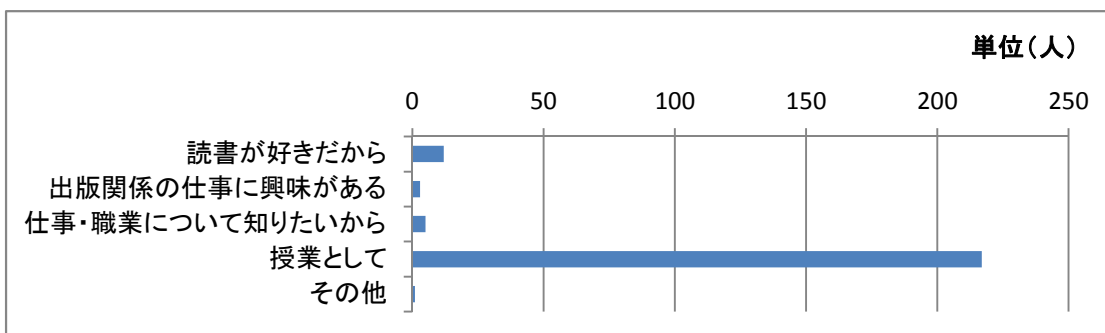


2) 今回の講演会に参加した理由は何ですか？(複数回答可)

単位(人)

読書が好きだから	12
出版関係の仕事に興味がある	3
仕事・職業について知りたいから	5
授業として	217
その他	1

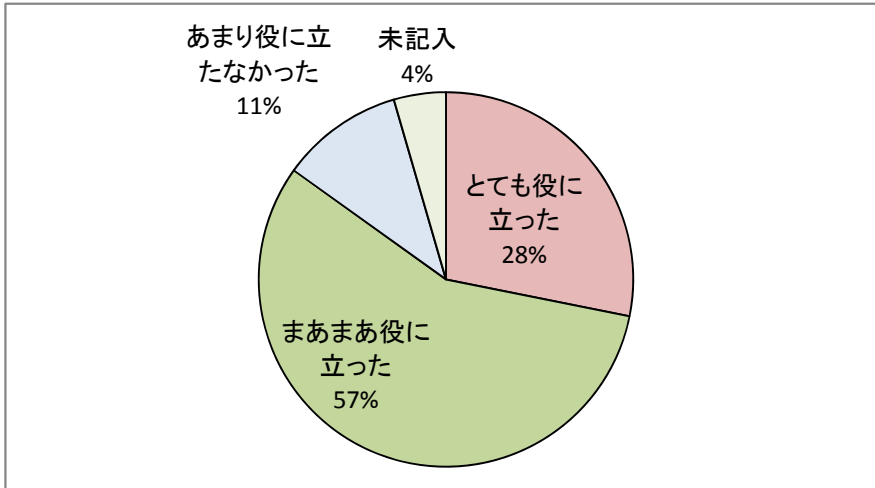
その他内訳



3) 今回の講演会は役に立ちましたか？

単位(人)

とても役に立った	69
まあまあ役に立った	139
あまり役に立たなかった	26
未記入	11
合計	245



理由

とても役に立った理由

- 出版社の仕事について多くのことを知ることができた。(15)
- 知らないことをたくさん聞けたから。(10)
- 将来の役に立つ話だった。(3)
- 出版業界に興味があるため。(2)
- いつも販売されている本について、制作から完成するまでの苦勞がわかったのでとても役に立ちました。
- コネの大事さが分かったので。
- とても聞きごたえのある内容だった。
- どの業界にも通じる心得が説明されていたから。
- 今までなんとなく見ていた本をよく見ようと思ったから。
- 自分の知らなかった出版と本の関係が分かった。
- 自分も小説などを読むため、文庫を手にするので今日知ったことを踏まえて本を選んでいきたいです。
- 仕事の裏話を聞けたから。
- 面白かった。

まあまあ役に立った理由

- 出版社の仕事がどのようなものかわかった。(23)
- いろいろなことが分かった。(12)
- なかなか知ることのできない情報を知ることができた。(6)
- 一つの仕事の内容や大変さがよく分かった。(5)
- 今後の進路に役に立つと思ったから。(3)
- 興味を持った。(2)
- 自分が目指しているところとは違うけれど、将来の参考になったから。(2)
- 将来役に立つと思ったから。(2)
- Twitterで教科書案内など。
- Webと雑誌の違いが分かった。
- あまり使用しないが、知識としていつか使えたらいいなと思いました。
- これを機にもう少し図書館に興味を持とうと思ったから。
- 今まで全く興味がなかった分野だったので知らないお話が聞けて面白かったから。
- 今後の学生生活で活かせると思った。
- 最近本を読むようになったから本に関して興味がわき、勉強になった。

試験のことと入社してからのだいたいの仕事がありました。
 自分の興味がある内容ではあったが、内容が少し理解しづらかった。
 小説を読もうと思った。
 専門用語が多くて難しかったが、本を読むときに気にするポイントが増えた。
 働くにあたって必要なことが分かった。
 入社試験の話など、なるほどと思いました。
 聞き手の方はしゃべりすぎていると思う。
 面白かったから。

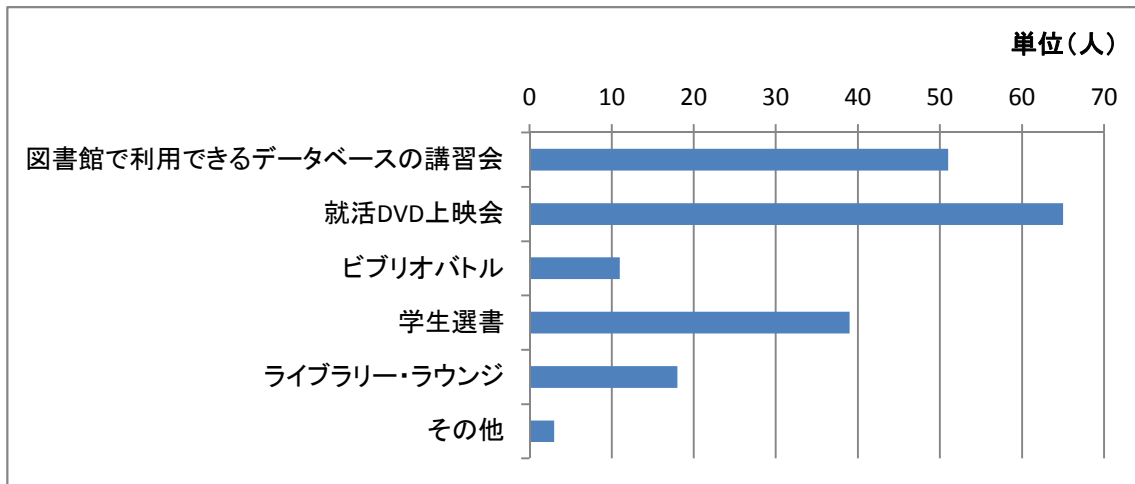
あまり役に立たなかった理由

興味がなかった。(5)
 あまり本が好きではないので。
 出版社に興味がなく、専門的な話過ぎて役に立たなかった。
 話が長かった。

4) 今後、図書館のどのような企画に参加してみたいですか。(複数回答可)

	単位(人)
図書館で利用できるデータベースの講習会	51
就活DVD上映会	65
ビブリオバトル	11
学生選書	39
ライブラリー・ラウンジ	18
その他	3

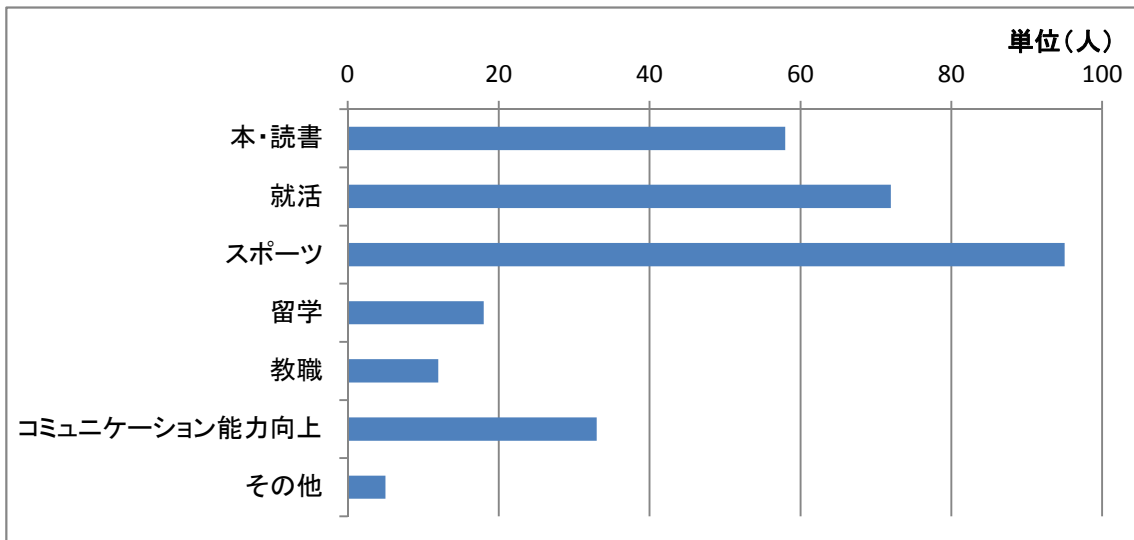
その他内訳	テスト勉強
	小論文説明会、自己PRの書き方
	本を借りる



5) 参加してみたい講演会のテーマを教えてください。(複数回答可)

	単位(人)
本・読書	58
就活	72
スポーツ	95
留学	18
教職	12
コミュニケーション能力向上	33
その他	5

その他内訳	TOEIC
	テレビ、YouTube、インターネット関係
	政治
	美術、欧州文化、音楽
	漫画やライトノベルについての企画



6)ご意見感想をお書きください

- 出版社の方がどのような仕事をしているか知ることができました。(22)
- とても貴重な話を聞かせてもらえてよかった。(16)
- とても面白い話が聞けて良かった。(9)
- 出版社の裏側についていろいろと語ってくれたので非常に楽しめた。(7)
- 本や雑誌がどういう方法で作られているのかわかって良かったです。(7)
- とてもためになりました。(5)
- 文春の仕事は大変だと思った。
- かわりのない業界についての内容を知ることができた。勉強になった。(3)
- あまり本を読まないけど、いろいろな知識を持って本づくりや出版をしていることを知りました。(2)
- ありがとうございました。(2)
- インタビュー形式でわかりやすかった。(2)
- どんな職業に就くにしても、本を読んでおくことが重要だと思った。(2)
- 色々な事がわかってすごく興味が出た。(2)
- 聞いていてとても面白い話だった。またこういう企画をしてほしい。(2)
- 本を一つ作るのも大変だと思いました。(2)
- いつもの話だけでなく、聞き手がいるところが面白かったです。Webと雑誌の違いがよくわかりました。
- お店に表紙を置いてもらえるようにするには、まず相手と仲良くしたほうがより多く置かせてもらえるので、人とのコミュニケーションが大事だと分かった。自分が体を張れば張るほどよりよい記事をかけたり情報を得たりすることができるので仕事は大変。
- キャリアデザインとしての授業で役に立つものはあまりなかった。
- こんな感じの講演を受けたのは初めてだったので楽しかったです。わかりやすい話だったと思います。
- 雑誌も何気なく読んでいる本も、表紙であったりデザイン、紹介文など細かいところに結構な時間と労力がかかっているなと感じました。今後はそのようなところも気にかけてみようと思います。
- すごく面白かったですし、楽しかったです。自分は業界に入ろうとかこれっぽっちも思っていなかったのですが、友人が入りたいと言っていたので、今日聞いたことが何かの役に立てばいいなと思います。文庫はあまり読んでいないのですが、解説があるなら読んでみようかと思います。
- ナンバーの雑誌や週刊文春などそれぞれの班に分かれて取材をしたり、写真を撮ったりすることがわかった。地方に回って取材に行くのはとても大変そうだなと思った。人物50人の説明をしたりして面接の試験があり、すごい入社試験を受けたなと思った。

ニュースとかで名前はよく聞いていたけど、今日の講演でよく知ることができたのでとてもよかったです。

もう少し自分たちが参加できるような感じにしたほうがいいと思います。

よくわからなかった。内容を明確にしてほしい。まず話をする前に何について話をするのか言ってほしい。

一週間の仕事がとても大変そうだけど、楽しそうな仕事だと思いました。

何を伝えたいのかあまりわからなかった。

興味深いことやあまり知らなかったことを講演会を通して知ることができ、学べてよかった。今後、少しでもいいので雑誌を手にとって読んでみようと思った。よい講演会に参加できてよかった。

今までのイメージ通り出版社は大変だということが分かった。ニュースをよく読んでおく必要があるんだということも知れた。こういう選択肢もないわけではないので、この講演会で学んだことも踏まえて就職に向けて取り組んでいきたい。とても勉強になりました。ありがとうございました。

今までは図書館を暇つぶしくらいにしか活用していなかったが、これからは本に興味を持ち、就活のための本などを調べるために活用しようと思う。大手出版社の仕事については、自分は少し興味があったので話を聞いてためになった。

今まで出版社の仕事内容など何となくしか知らなかったけれど、いろいろなことを知ることができてよかったです。本や雑誌を作るときに大変なことやその仕事をしている人しか知らないような話を聞いて面白かったです。

今まで触れていなかった週刊誌の世界の話が聞いて良かったです。

今回の講演に参加して貴重な話を聞くことができた。話を聞いていて、週に休みが1度しかないらしいのですが、給料は月にどれくらいもらっていたのか気になりました。今回の講演で就職の選択肢が一つ増えました。

今回の講演を聞いて、社会に出てからもコミュニケーションは欠かせないので、この大学生活で読書などしてさまざまな知識を蓄えて社会に貢献していきたいと思いました。そのためには今の時間を有意義に過ごして就活に活かせるようにこれから様々なことに取り組んでいきたいと思います。

今後の学生生活のためになりました。

今日にいたるまで出版社ってどのような仕事をしているのか知らなかったので、この機会に知れてよかったです。この講演会を通して思ったことは、出版社はただ本を出版することだけが仕事ではないということです。営業だったり、資材の調達もしっかり忘れずにいるのはさすがだなと思いました。また、ほかの仕事の講演会が開催されたら積極的に参加していきたいと思います。

自分の知らなかったことを知ることができたので図書館を学生生活で活用していきたいと思います。

自分はあまり本を読まないほうなので、今回の編集の仕事を知って編集者側のことも考えながら読んでみたいと思う。

自分も本が好きでよく読むので、これから本を選ぶ時の意識が変わりました。

週刊文春に対する印象が変わりました。編集者の努力が伝わりました。

週刊文春の著作と内容がちょっとわかりにくかった。

出版業界で働きたい気持ちが強くなった。いい機会になった。

出版業界の人から直接話を聞くことは、ありがたい機会だったのでいい経験になりました。裏方を知って文庫に触れるとより面白く感じると思うので興味がわきました。

出版社に勤めている人の話を聞くのは初めてで、面白かった。週刊誌や文庫など様々な出版物の話を聞いて良かった。

出版社の仕事について全く知らなかったので今回の講演で知るいい機会になりました。毎週地方に行く聞いて全然休みがないなと思いました。話を聞いていると仕事のハードさが伝わりました。また、本や雑誌の文の構成の作り方なども聞いて良かったです。

小池さんの話が面白かったです。

図書館では小説だけでなく卒業論文の参考資料もあることを知って、4年生になったら役立てたいと思います。

図書館のDVDを増やしてほしい。

大ヒットして倒産することに驚いた。

大変だと思いました。ネタ探しもきついです。

知っておくべきことについて学びました。

長久保さんと佐藤さんの色々なお話が聞いて良かった。

内容が濃かったです。

入社試験に関しては聞ける機会もありましたが、業務内容を詳しく知れる機会はあまりなかったので、今回の講演会で情報量の多い内容を聞いて良かったです。

普段、編集関係の仕事についている人の話を直接聞ける機会はめったにないので、良い機会であったと思います。読者側でしかないので、普段本を買うときに参考にしている裏表紙のあらすじに文字制限(140字程度)があったり、解説を芸能人に書いてもらい売り上げにつなげていたりと様々な裏話が聞いて面白かったです。

幅広い知識が必要になり、体力が大事な仕事だと思った。

文春というだれもが知っている大手出版社さんでさえも、さまざまに書店に行って営業して一冊でも多く自社の本を置いてほしいとお願いしに行くのには驚きました。大きな会社でも社員さんの小さな努力の積み重ねがあって維持されているんだなと痛感しました。

文春の人が早口だったので聞き取りにくかった。面白くなかった。他の出版社さんのほうが興味を持ってそう。身内ネタで笑われても困る。

文春や本の出版社で仕事をしている人は忙しいなと思った。体力のいる仕事や転職に強いということがわかりました。

聞き手の方の足を組んでいるのがかなり気になりました。話し手の方がお話している途中で割って入って質問しているのも気になりました。業界用語が多く、理解できないところが多々ありました。一番気になっていた入社試験の内容が全然わかりませんでした。お話の内容はとても魅力がありましたが、やはり業界用語が多くありすぎて困りました。前のお二人だからわかるような内容、笑どころが多く、聞いている側としては非常に退屈しました。申し訳ありません、聞いていて魅力を感じませんでした。

本がどう作られているかがわかり楽しかった。ですが業界用語が出てきたり、話が難しいことが多々あったので、もっと学生がわかりやすく、皆がもっと興味がわくように工夫してほしいと思いました。会社が大きいたくさんの人が働き、すべて会社の人で作らなければいけないと、編集者の仕事はとても大変だということもわかりました。

本のページは16の倍数というのが印象的でした。

本のレイアウトで文字を小さくし、行数を減らし、ページを減らしていたり。デザイナーの人にもデザインを手伝ってもらっているなど初めて聞く話が多く、また講演会があるなら参加したいと思いました。

本の制作(文庫)を作るには39*16マスを基準にしていることがわかりました。また文字を詰めている文庫も制作していることがわかりました。週刊文春は本のデザインをするデザイン室があり、デザイナーとして採用する会社だと分かりました。また、本の裏のコメントにあらすじを書いてしまう編集者は下手だ、と仰っていたので驚きました。

来年から年間50冊を目標に頑張りたいと思いました。とても身になる話ばかりで勉強になりました。

裏事情がかなりわかりやすくてよかったです。読者の読みやすさなど考慮した工夫が凝らされていて感心しました。

留学してみたいと思っているので講演してほしいです。